

日程第2．一般質問

○議長（保坂 悟君）

日程第2、一般質問を行います。

6日に引き続き、通告順に発言を許します。

東野恭行議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。〔9番 東野恭行君登壇〕

○9番（東野恭行君）

おはようございます。みらい創造クラブの東野恭行でございます。

発言通告書にのっとり、1回目の質問をさせていただきます。

1、公共工事入札の不調・不落の原因と対応策について。

(1) 公共工事の入札に参加する事業者がおらず、落札者が決まらないときの対応策を伺います。

(2) 公共事業の入札に参加した事業者の入札価格が予定価格を超え、落札者が決まらないときの対応策を伺います。

(3) 再度公告入札、再度入札の概念について伺います。

(4) 入札不落の場合に例外的に行われる不落随契について伺います。

2、糸魚川市におけるUターン施策について。

(1) 糸魚川市にUターンしてくれる人材について、Uターンをする理由や動機など、糸魚川市はどのように分析しているか伺います。

(2) 糸魚川市内の賃貸物件に入居するUIターン者に、家賃の2分の1を最大2年間補助する制度があるが、高卒で、市内で就職し、一人暮らしを検討する学生に対し、家賃補助の検討はあるか伺います。

(3) 将来、糸魚川市内で医療や介護分野の業務に従事しようとする学生に対し、修学資金を貸与する制度があり、一定条件により、その返還が免除される制度があるが、修学資金の利用状況と、Uターンの見込みについて伺います。

(4) UIターン修学資金返済支援事業補助金の利用実績と、制度利用者の今後の見通しについて伺います。

3、新成人を祝う会について。

(1) 令和4年4月1日より、民法改正により成人年齢が18歳となりました。令和6年度（令和6年11月4日（月・祝））に開催された新成人を祝う会（成人式）の参加者数と開催時期の適正について伺います。

(2) 令和7年度の新成人を祝う会の、開催内容の検討について伺います。

以上で1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、公告時期や公募範囲を検討し、再度公告を行います。

2 点目につきましては、設計書の見直しを行うとともに、公告時期や公募範囲を検討の上、再度公告をいたします。

3 点目につきましては、再度公告入札は、入札の不調、不落により、改めて公告を行い、再度参加者を募集することであり、再度入札は、1 回目の入札で全ての応札者が予定価格を上回っているが、その差が僅かな場合、引き続き、2 回目の応札を求めるものであります。

4 点目につきましては、再度入札においても予定価格を上回ったが、その差がさらに縮小した場合、最低額の応札者と随意契約の交渉を行うものであります。

2 番目の 1 点目につきましては、転入手続の際に理由を調査しており、Uターンする理由の大半が「仕事のため」となっていることから、就職、転職、起業等が転機となっているものと分析いたしております。

2 点目につきましては、現時点では検討いたしておりません。

3 点目につきましては、医療分野については、合併以降、144人からご利用いただきまして、Uターン見込みも含め、約6割が市内に就職いたしております。

介護分野については、平成27年度の事業開始以降、利用者20人のうち14人が地元就職となっておりますが、5年度以降の利用者はございません。

4 点目につきましては、4年度40件、5年度34件、今年度は29件と若干減少傾向にありますが、一定の効果があるものと捉えており、引き続き、取り組んでまいります。

3 番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

鶴本教育長。〔教育長 鶴本修一君登壇〕

○教育長（鶴本修一君）

おはようございます。

東野議員のご質問にお答えいたします。

3 番目につきましては、来場者は42人で、そのうち新成人の参加者は19人でありました。市内3高校と相談しながら、開催時期を決定しましたが、新成人の参加にはつながらなかったことから、今後の開催方法について検討してまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

それでは、2回目の質問を行いたいと思います。

1番の（1）から、入札に参加する事業者がおらず、落札者が決まらないときの対応策について、2回目の質問をさせていただきます。

公共工事の入札予定価格は、どのように数値的根拠を出すのか。仕様書を作成するにも、建築等の大量の物品購入等が予測される大きな事業ほど見積りは困難となり、経費もかかると考えますが、事業の大小にかかわらず、入札予定価格決定までの道筋を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

おはようございます。

ご質問にお答えをいたします。

そちらのほう、必要に応じまして業者のほうから参考見積書を徴すると。それとその後、技師が設計した金額をもって予定価格を設定していくという流れになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

公共の入札には、建築、土木、電気工事、解体、ガス・水道事業など、様々な事業がありますが、発注者、市役所にとって見積りが困難で、落札予定価格の設定が困難な事業は、どんな事業か伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

今ほど議員のほうから少しお話ありました建築であったり、電気等に係る修繕だとか改築等ですね、また、付け加えますと解体工事も含めまして、そういった事業では、見積価格を参考とするところが多いものですから、そういったところでは、ご指摘のとおり高い困難性、困難な事業と言えるのではないかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

今いただいた答弁なんですけども、やはりこの建築や電気工事になってくると、その金額を、見積りを出すにしても、なかなか算定しにくいという状況が考えられるという、そんな解釈でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

そういった状況もあるということだと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

現在、長期的に応札者が現れない入札不調案件については、年間どの程度件数があり、どの程度の期間、不調であるのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

長期的に応札者がいないという入札の不調案件でございますけれども、こちらにつきましては、年1件あるかないかということでもあります。近いところでは、令和5年度から6年度にかけまして、2件繰越しをして実施したということがございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

年間1件、繰越しで5年、6年にまたがって2件ということなんですけれども、総務文教常任委員会の審査の中でも、エアコンの設置でしたか、それもちょっと長期にわたって入札が不調になったかと覚えておるんですけれども、そういった状況が発生するというのに、どういった背景があるか、分かる範囲で教えていただければと思いますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

1つには、私どもの工期の設定であったり、業者さんが、そちらの受け手のほうでそういったことに対応できる状況かということもあると思っておりますけれども、基本的には、応札者の皆さんと私ども発注者の皆様方の認識の違いもあるのかなというところで、今推測をしているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

なかなか現場の状況、発注者の認識の違いということなんですけれども、会社さんの人手が足りな

かったりだとか、なかなか人員が確保できないという、そういった状況も考えられるんですけども、今考えられる原因としては、資材の高騰ですとか、その人員の不足ということが考えられるんですけど、やはりそういった状況は、当てはまりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

議員のほうご指摘のとおり、やはり資材の高騰等による価格の高騰、設計額の高騰というのは、避けては通れないということであります。そちらのほうにつきましては、ちょっと技師のほうとしっかりと見直しをかけながら、設計を行っているということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

何度も不調が続き、応札者が現れない案件、年間1件程度ということだったんですけども、そういった案件には厳しい価格設定により収益が上がらないなど、事業されている方にとって、入札予定価格が妥当性に欠け、魅力のない事業とも考えられますが、そちらについては、いかがでしょうか。応札者が現れない、考えられる入札不調の原因をいま一度伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

先ほども少し回答させていただきましたけれども、やはりそちらのほうにつきましては、応札者と私ども発注者側との認識による違いがどこかにあるのかなというところで、今推測だけしかできませんけれども、そのような状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

日頃より提出書類の簡素化や入札参加条件の見直しなど、入札が不調にならないための研究はされていることと思いますが、不調にならないための応札しやすい条件整備を今後ともよろしく願いたいと思います。

続きまして、（2）番の入札価格が予定価格を超え、落札者が決まらないときの対応策について、再質問させていただきたいと思います。

落札率が限りなく100%に近い率で入札予定価格を予測できるようなソフトがあると、以前お聞きしたことがあります。予定価格を超える応札に関しては、ご商売をされている以上、損をしなければならないという心理と、落札しなければ仕事が取れないというジレンマの中、競争入札をされ

ていることと思います。発注者の予定価格と事業者の応札価格の差異が、大幅に出てしまうときに考えられる原因について、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

やはり議員のご指摘されておりました、損をしたくない、仕事もしたいというところのジレンマもやはりあるものだというふうに考えております。いずれにしましても、各業者でそういったところを踏み込みながら工法、また、工事内容で得意・不得意の分野もあろうかと思っておりますので、そういったところで価格が反映してくるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

それでは、（3）番の再度公告入札、再度入札の概念について、市長からご答弁いただきましたが、改めて再質問させていただきます。

再度公告入札は、入札の不調や不落に対応するために有効な手段であるか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

適正な予定価格というものを設定する上で、落ちなかったということがございます。そういったときには設計内容を見直す作業もしておりますので、そういったところでは、有効な手段であるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

過去に再度公告入札の実例はあるか、伺いたいと思います。

仕様書や予定価格の見直しが必要なケースはどのような理由が考えられるか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

再度公告につきましては、これはもう例年必ず発生するというようなところで、実例はあるというところがございます。

設計内容につきまして再度検討をし、修正がある場合は再設計をし、再度公告入札を行っているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

今いただいた答弁に関連するんですけども、糸魚川の公共入札において、再度公告入札を行うことによって、入札の不落・不調は解消されたという、今のご答弁で解消されるものと解釈してよろしいか、再度伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

最終的には、落札に至っているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

今の答弁を踏まえて、もう一つ再質問させていただきたいと思いますが、今回、不落が続いている東北電力ビル解体事業ですが、再度公告入札で臨まれたのか、再度入札で臨まれたのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

再度公告入札によって実施しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

東北電力ビルの解体事業については、再度公告入札で臨まれたとのことですが、先ほどの答弁の中に、入札が不落に終わったということで、設計の見直し等を行って、再度入札に臨んだ。そのような解釈で間違いはないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

そのような解釈でご理解いただきたいと思います。思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

そのように行って、今まではいろいろな問題、不落の問題についても解消されてきたということは、今後は、この事業に関して解消されるものという考え方でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

これまでの結果としては、解消されてきたということでございます。今ほどの案件につきましては、今現在継続中のところでもございますので、そういったところにつきましては、少し控えさせていただきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

それでは、（4）番の入札不落の場合に例外的に行われる不落随契について、再質問をさせていただきます。と思います。

不落随意契約は、競争性を確保した競争入札の結果として、落札者がいなかったのが随意契約するものと考えますが、公共事業の入札で3回程度不落が続いた場合、予定価格に一番近い価格で応札した事業者が不落随契の権利を得られると考えますが、不落随契について、いま一度、担当より詳しい説明と、糸魚川市の入札で、過去に不落随契に及んだ実例があれば、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

当市の場合は、初回の入札で落札者がいない場合は、再度入札を行っているということでございます。そこでも落札者がいない場合には、最低の額で応札者と随意契約の協議を行っているということで、こちらのほうは、電子入札制度で行っているということになります。

先ほどの不落随契の案件につきましては、ここ二、三年では、年間4から5件程度、発生をしているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

不落随意契約の交渉としては、入札予定価格以下になるように価格の交渉を行うと考えますが、予定価格に収まらず、交渉がまとまらないケースもあると考えられます。そういった場合には、後に議会に対し補正予算などの検討も考えられるのか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

予定価格の中に収まらない場合ということのときには、設計内容や公募条件を見直しをしていて、再度入札の公告を行っているということでございます。その事業内容の精査を行う中で、補正云々等の検討を進めていくということで考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

基本、最初に決めた予算額内ということになろうかと思うんですけども、本当に物価の上昇やその人件費の上昇などにより、補正予算は考えられないことではないという、そういう解釈でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

補正が必要であるというしっかりとした理由があるのであれば、そこは補正というところもしっかりと考えて、お願いをしていかなければいけないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

入札の途中ということであれば、もちろん業者側と市役所側が対話することはできないというふうに思っておりますし、もちろんそうなってくると、補正の検討もできないということになろうかと思っておりますけども、不落随契になったときに初めて補正に関する検討が、対話することによって補正による検討ができるのかなというふうに思うんですが、そのような解釈でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

現在の当市の考え方とすれば、技師がしっかりと設計をする。必要に応じては設計委託をしているという状況でございますので、そういった中では不落の条件は、当然、分析、内容の確認をしていくという状況の中で、基本的には応札者の方々と話すことなく、自ら自分たちのほうで、しっかりと設計を、積算し直したり見直したりしていくというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

糸魚川市財務規則、別記1、建設工事請負基準、約款第27条第6項の中で、予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーションまたはデフレーションが生じ、請求代金額が著しく不相当となったときは、発注者または受注者は、前各項の規定にかかわらず請負代金額の変更を請求することができると、この約款にございますが、これらは契約が済み、既に工事に取りかかっている状況、状態かと思いますが、仮に同様な想定、インフレなどによって入札の不落が続く場合、状況に応じて競争入札の原理・原則に基づき、応札する事業者と協議できるような仕組みやルールづくりが今後必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

お答えします。

先ほどお答えしましたように、入札の不落が続く場合は、基本的には私ども発注者側のほうで市場価格であったり、参考見積りを徴しているというふうにお答えしておりますが、そういった中で見直しを重ねていくということでございます。その中で、新しい仕組みというルールづくりということでございますが、こちらのほうにつきましては、いずれにしましても透明性や公平性の確保をしっかりと留意をしながら、研究をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

一概には言えませんが、私は、理由さえ分かれば、必ずしも追加の補正予算が悪いとは思っておりません。糸魚川市財務規則にもあるように、急激なインフレやデフレが生じ、請求代金額が著しく不相当になるケースも考えられるわけです。そして、議会は予算の審査はするものの、応札者同様、入札予定価格は知り得ることができません。専門的知識もある方も一部でございます。ゆえに、数回にも及ぶ入札について、市役所が提示する入札予定価格と応札者の入札価格の妥当性についても、もちろん語ることはできないのです。工期の決まっている事業に後れを取らず、入札が不調・不落にならないための最善の方法を導き出していきたいと思いますが、市長か副市長、お答えいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常にこの特殊のような事業については、今、議員ご指摘のようなことが起き得るだろうと思っております。そのようなときには、やはり一定の基準を設けておりますので、我々、内規的に持っておる部分がございます。そういった中での判断になろうかと思うわけでございますが、そういった枠内に入ったときには、発注者と、また応札者で協議をして、どの辺が違ってるのか、どの辺が我々の、発注者の考え方は、意向を聞きながら調整をしまいたいと思っておる次第でございますし、また、特殊的な外的な要因というのは、今ご指摘のようにインフレだとかデフレだとかいろいろ起きる中において、急激な価格変動が起きた場合には、それはやはり発注者としても調整をしなくちゃいけないと思っておりますし、また、受注者としてもそれだけの訂正をする権利も、やはり契約の中に位置づけさせていただいてるわけございまして、そういう中で、なるべく我々の計画どおり進めていきたいと思っておりますので、我々としましても、そういったところには努力していきたいと思っております。この我々の1つの決めた事柄におきましても、一定の考え方でやってるわけございまして、時代に沿ったものになっていくような形もやはり考えながら、落札率を高めたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

よろしく願いいたします。

それでは、2番目の糸魚川市におけるUターン施策について、2回目の質問をさせていただきたいと思っております。

Uターンする理由や動機など、どのような分析をしているかということで再質問させていただきます。

Uターンの動機は様々かと思っておりますが、ふるさと糸魚川にいずれ帰りたいと考えている学生の割合は、どの程度あるとお考えか、伺いたいと思っております。過去にそれを知り得るアンケート等の実施した経緯はございますでしょうか、伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

以前、コロナ禍において実施いたしました出身大学生に食料品などを届ける応援事業を行っております。その申込みの際に、将来どこに定住したいかといったことを取ったことがございました。その中で、糸魚川市を含むといった形になりますけれども、令和4年の数字で、おおむね30%の方が糸魚川市に定住したいといった形でお答えをいただいているといった状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

そういったアンケートを行ったのをちょっと初めて知ったんですけども、令和4年に実施されたそのアンケートの中で、例えば保護者がどんな呼びかけ、Uターンに対して呼びかけをしてるかとか、そういった情報って、アンケートの中で取られた経緯はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

今ほどのアンケートとはちょっと別で、今年度に入りまして、市内の高校生を持つ親御さん向けにアンケートを取らせていただいたことがございまして、その中で保護者の方々にUターンしていただきたいかといった形でお気持ちを聞いたといったことがございました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

ちなみにお伺いしたいんですけども、そのアンケートについては、親がUターンして帰って来いよという声をかけたとか、例えば親としても帰ってきてほしいという気持ちがあるのか、どういったアンケート内容だったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

すいません、親御さんのお気持ちを聞くといった形で中学生、高校生の保護者の方にお聞きしたものでございました。Uターンして欲しいと思っているかといった設問、それからUターンして欲しいと思わないといったことの回答を求めたところ、ほぼ同数といった結果が出てございました。

以上です。

○9番（東野恭行君）

何%ぐらい。

○企画定住課長（中村淳一君）

すいません、ちょっと今、具体的な数字まではちょっと今持ち合わせてないんですけど、同じ数字、ほぼ同じ数の方々ということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

なぜこういった質問したかという、やはり帰ってくるにもきっかけっていうのが大事ななというふうに思っております、そのきっかけについて、親御さんがどう関わってるのかなというふうにな気になったもので、質問させていただきました。

ふるさと就職資金貸付制度やインターンシップ申請補助金などは、糸魚川にUターンを決めたことで、初めてそのよい制度に気づいたという方が、ほとんどではないかと思っております。今後は、Uターンするきっかけや動機につながる事業展開にも力を入れていただきたいと考えております。10月、11月と新潟市と東京で行われたChill Night Meetingも繰り返し続けていただくことで、必ず何らかのよい成果が生まれると思っております。Chill Night Meetingの開催の成果、大きな成果について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

糸魚川市出身の学生や社会人、また、地元企業が緩く交流するイベントでございます、糸魚川Chill Night Meetingは、今年度で3回目を迎えております。今年初めて新潟のほうも開催させていただきました。東京会場ですと、学生、企業を合わせまして67人の方に参加いただいておりますし、今年初めて行いました新潟会場につきましては、35名の方が参加いただいております。参加者数だけでは、計り知れない地元愛の確認だとか、そういった効果が、やはり出ているのではないかなと考えております。引き続き、今後も続けていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

おはようございます。

補足して、お答えさせていただきます。

私、今年度、東京と新潟会場、両方出席をさせていただきました。その中で聞いたお話なんですけども、東京会場では、昨年度、Chill Night Meetingで出会った方が、結婚されて、来春こちらに帰ってくるというお話もいただいております。また、両会場に共通していたのは、糸魚川の皆さんが、私たちのことをよく考えてくださっていると。そういった中で、糸魚川に帰ってみることも検討してみようかなってお話も、幾つかいただいております。それはまだ実現に至らないのかもしれませんが、大きな、何ていうかな、Uターンとかそういうものになかなかつながらにくい部分もあるかと思いますが、こういった取組を継続することによって、1件でも2件でも実績を上げていきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

Chill Night Meetingに関しましては、緩くつながるっていう趣旨、すごく分かります。あんまり帰ってきて帰ってきてっていうムードで糸魚川の人が何うと、あんまりよくないのかなという意味合いも込められてると思います。本当に続けていただくことで、本当にきっかけも多岐にわたって、きっかけも発生すると思いますし、商工会議所と連携をしていただいて、長く続けていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いします。

（2）番の高卒で市内に就職し、一人暮らしを検討する学生に対し、家賃補助の検討はありますかということでご質問を差し上げましたが、ありませんというご回答でございました。

本来、地元に残ってくれる学生にもっと優遇措置があっべきと考えております。糸魚川市においては、地元就職おめでとう補助金などがございますが、一見、UIターン者に優遇措置が偏っているようにも思っております。もっと地元に残ると決めてくれた学生さんに優遇措置といいますか、もっと大切にしていってほしいなと考えますが、それについて、お考えはございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

ご指摘のとおり、運転免許取得に対します地元就職おめでとう補助金につきましては、高校を卒業し、すぐに地元に残っていただけることを決めていただいた若者に対して、私らとしての応援でございます。若者は、やはり貴重な財産でございますので、大変ありがたく感じております。引き続きこのような事業を継続してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

私も就職おめでとう補助金について、支援者の方からご相談いただいて、大変喜んでおられたのを目にしておりますが、実際、地元に残っていただいた方、どれぐらい利用があったのかなというのがちょっと気になるので、もし数字的に分かるようでしたら、お答えいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

地元就職お祝い補助金につきましては、一律5万円を補助するものでございます。現在、53名の方に今、交付のほうを行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

大変すばらしい制度だと思いますので、継続お願いしたいと思います。

それでは、（3）番の修学資金を貸与する制度、その返還が免除になる制度について、再質問させていただきたいと思います。

全国的にも、医師や看護師については、慢性的な人手不足の状況がございますが、医療の分野によっては、大学卒業後の就職時には、人材が飽和状態になると予測される分野もあります。そして、市内の病院については数年後、地域医療構想の下、診療科目の再編や集約という状況が考えられています。市内で医療機関に就職が決まれば、修学資金貸与の返還が免除になる大変よい制度だなと感じておりますが、同制度を見ますと、職種により市内の求人状況が異なります。卒業後、市内で就職できるかどうかを十分ご確認の上、申請してくださいとありますが、この飽和状態になるであろう医療の分野の修学資金返還免除について、既に実施されている分野は、期限を切るなどして見直しをする必要が、今後考えられると思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

おはようございます。

お答えいたします。

必要に応じてその辺は見直しをしていくことが必要だというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

今年、この返還が免除にされる事業なんですけども、結構な人数ご利用されたということで伺っております。糸魚川市においては、医療や介護分野の業務に従事しようとする学生に対し、今質問しました（3）のような制度がございますが、慢性的に技術者が人手不足である産業の分野に対しても、同様の措置を検討してみてもどうかと考えております。一次産業でも二次産業でも、医療の分野と同様に確保したい人材は必ずあると思っております。地域の企業においても、修学資金の返還の免除について取り組んでいる実例があるかと思っておりますので、企業とも情報共有をするなどして、検討してみても、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

全体的な制度をとということで、お答えさせていただきたいと思いますが、医療ですとか介護人材、それから保育士等に関しましては、人材確保と併せまして、進学に際して国家資格などが取得でき

るといったところと組み合わせた制度を構築しているものというふうに理解しております。

したがいまして、今ほど議員おっしゃられるような制度としては、まだないんですけれども、例えば資格試験の補助制度もございますので、引き続き事業者の方々と意見交換させていただく中で検討できればというふうには考えております。

また、現在実施しています修学資金の返済支援事業の補助金というのがございますので、こちらのほうは公務員を除いて業種による制限というのは特にございませんので、大学を出て、戻ってこられて、返済に入るといった場合には利用できるという制度になろうかと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

ぜひ企業とも情報共有などして、また、前向きにご検討いただければというふうに思います。

（4）番のUIターン修学資金返済支援事業補助金についての再質問をさせていただきたいと思えます。

意外とこの制度について、存在を知らない方が多いと実感しております。UIターンのきっかけや動機になり得る大切な事業であると考えます。大学生のお子さんを持つ保護者にも積極的にこの情報を伝える工夫をお願いしたいと考えておりますが、現在どのような情報を伝える手段として取組をされているか、状況を伺いたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

UIターンの修学資金の返済支援事業につきましては、ホームページで公開をさせていただいているほか、毎年、市内3つの高校の保護者会、PTA総会などに出向きまして、保護者向けに説明をさせていただいているといった状況でございます。引き続き、そういった場を捉えながら説明をさせていただくとともに、また、Chill Night Meetingですとかリバイバル25といった場もございますので、そういったところでも若者への周知といったところを図ってきたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

先ほど最初の市長の答弁で、件数についてもご質問の答弁いただいたんですけども、件数について、改めてまたご回答をお願いしたいのですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

この制度を利用させていただいている方につきましては、令和4年度で40件、令和5年度で34件、今年度ここまでというところになりますが、29件といったところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

それだけUターンの実績があるということで、こちら、いかにこの制度があるかというのを知っていただくかというのは大事なことかと思っておりますので、取組のほうを強化していただければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、3番の新成人を祝う会について、再質問させていただきたいと思っております。

11月4日に開催された新成人を祝う会に来賓として参加させていただきましたが、講演についても大変内容もよく、楽しく聞くことができましたし、設営には手作り感もあり、大変心のこもったしつらえであったと感じました。ありがとうございました。

しかしながら、新成人の参加者が、残念ながら少なかったように感じました。19名ということでした。本年度から11月の開催についても熟考されたことと思っておりますが、お祝いという性質上、強制的に学生に対し動員もかけられないのが実情かと思っておりますが、多くの新成人にお祝いしたいのが今の心情であると考えています。この19名という結果を踏まえて、どのような対策を今後考えていくか、伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

磯貝生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 磯貝恭子君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（磯貝恭子君）

おはようございます。

お答えします。

よかったという感想をいただきまして、ありがとうございました。参加された方からは、やはりそのような声をいただいておりますけれども、お祝いなので、受ける側に届かないと、やはりなかなか意味がないなと思っております。昨年度と今年度開催してまいりましたけれども、新成人の方を一堂に集めて行うということは、でき得る工夫はしたつもりですけれども、なかなか難しいなと実感しております。今、今後については検討してまいりますが、例えばメッセージを届ける方法はどうとか、あるいは、はたちの集いにつなげられるような方法ができないか、そのような内容については検討してまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

本当、しつらえについては、すばらしいしつらえだなというふうに感想を持っておりますが、新成人をお祝いしてあげたい気持ちは、担当課のこのしつらえと取組で伝わりましたが、正直もった

いないなと感じたのが感想でございます。個人的には、市内3高校やフリースクール、現在ありますフリースクール等に市長が直接赴き、祝辞を述べて、ささやかな記念品を贈呈するだけでも新成人に十分気持ちが伝わるのではないかというふうに思います。そうすることによって、在校している生徒、少なくとも在校している生徒には、お祝いの気持ちというのが伝わるのかなというふうに思います。

新成人を祝う会は、糸魚川市の子ども一貫教育においても節目となる大事な行事であると捉えておりますので、来年度も開催する予定があるのならば、しっかりと意思をつないでいただきたい、このように思いますが、米田市長、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほど課長が答弁されたように、我々といたしましては、やはり新成人を支えていくといいでしょうか、お祝いする中においては、やはりどうしても行いたい一つの式典と捉えてるわけですが、その新成人という自覚を持っていただくということで自主性を求めたわけですが、なかなか我々の意図が伝わってないのが実情でございますので、その辺をどのように伝えればいいのか、強制的にやることは、今言ったような、議員ご指摘のような形ではできるのかもしれませんが、その辺をマックスと捉えて、自主性をどのように尊重して進めていくかというところを捉えていきたいと思っておりますので、今の段階でははっきりとは申し上げられませんが、検討していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

教育長のほうも、お考えがあれば伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

今ほど東野議員さんのお話の中にありました、子ども一貫教育の関係から見ても大きな節目だというふうなことの位置づけをお話しされて、私は全く同じ考えであります。ゼロ歳から18歳まで子供たちが地元で育ち、学び、そして成人というふうな大きな節目を迎える。それをみんなで応援したい。地域ぐるみで応援したいというふうな意味合いのイベントの企画だったんですけども、あの手この手で、始めて2年たったわけですけども、なかなか今ほど市長が話しましたように、私どもの思いがなかなか伝わらないという部分の中で、また見直し、改善をしながら、また、私たちの気持ちが少しでも伝わるような、そういったふうな内容に近づけるように、努力しながら、歩

んでいきたいなというふうに思ってます。大事なのは、やっぱりこれからも応援してるよ、糸魚川は、私たちのふるさとというのはこういう地域なんだよというふうなメッセージを、熱いメッセージを、成人を迎えた子供たちに送り届けたいというふうな思いでいっぱいであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

東野議員。

○9番（東野恭行君）

地方によっては、18歳の新成人に対するお祝いは、行わないという地方も結構多いのかなというふうに感じております。そういった中で、糸魚川市におきましては、この18歳の新成人を祝う会を大切な事業だということで位置づけられてることにしましては私も同感しておりますし、継続していただきたい、このように思っております。さらなるいい内容を考えていただいて、新成人にしっかりとお祝いの気持ちを伝えていただきたいですし、新成人の皆さんも喜んでいただけるような、そういった事業を展開していただきたい、このように思います。

以上で、私の一般質問を終了させていただきます。

○議長（保坂 悟君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

関連質問はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

関連質問なしと認めます。

11時10分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時01分 休憩〉

〈午前11時10分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田中議員。〔11番 田中立一君登壇〕

○11番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。

発言通告に基づき、一般質問を行います。

1、防災について。

能登半島地震から間もなく1年がたとうとしており、次第に収まりが見えてきたかに思えたが、